

第 3 1 回
釧路湿原自然再生協議会

資 料

令和 7 年 3 月 7 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

第 31 回 釧路湿原自然再生協議会

日時：令和 7 年 3 月 7 日（金）13：00～16：00

場所：釧路市観光国際交流センター 1F 大ホール

議 事 次 第

1. 開 会
2. 協議会の再編成について
 - 1) 協議会の再編成について
 - 2) 各小委員会の開催結果
3. 第 12 期（前期） 釧路湿原自然再生協議会の運営について
 - 1) 第 12 期（前期）協議会構成員の公募結果報告
 - 2) 第 12 期協議会の会長及び会長代理の選出
4. 議 事
 - 1) 第 11 期（後期）協議会の収支報告
 - 2) 小委員会の名称及びこれからの小委員会の目的と実施内容
釧路湿原自然再生協議会運営細則の改正（案）について
 - 3) 第 30 回釧路湿原自然再生協議会以降の小委員会開催報告
 - 4) 全体討議・委員提案、全体構想について
5. その他
 - ・連絡事項
6. 閉 会

第 31 回 釧路湿原自然再生協議会

資 料 目 次

	頁
1. 協議会の再編成について	1
2. 各小委員会の開催結果	2
3. 第 12 期(前期) 釧路湿原自然再生協議会構成員の公募結果報告....	5
3-1 第 12 期（前期） 協議会構成員の公募結果	5
3-2 第 12 期（前期） 協議会構成員名簿	7
4. 第 11 期（後期）協議会の収支報告.....	12
5. 釧路湿原自然再生協議会運営細則の改定（案）について.....	13

1. 協議会の再編成について

釧路湿原自然再生全体構想策定から 20 年を契機に、議論の活性化や持続的な協議会運営などを鑑み、7 つの小委員会を 3 つに再編成することについての書面決議を令和 6 年 10 月 7 日から 10 月 18 日まで行った。その結果、回答数 80 のうち、賛成 78、反対 1、その他（意見なし）1 となり、書面同意が得られたことから再編成に至った。

小委員会再編の経緯

■ 自然再生協議会の現状と展望

- ・ 自然再生事業が軌道に乗り、個別事業の効果が示されてきた。今後は湿原全体の保全に対する評価にも展開していきたい。
- ・ 自然再生の取り組みを次世代に引き継ぐため、積極的に新たな委員、若手委員の登用を図っていきたい。
- ・ 小委員会を再編し、より効率的・効果的に事業の検討を行う体制としたい。

■ 再編のタイミングと経緯

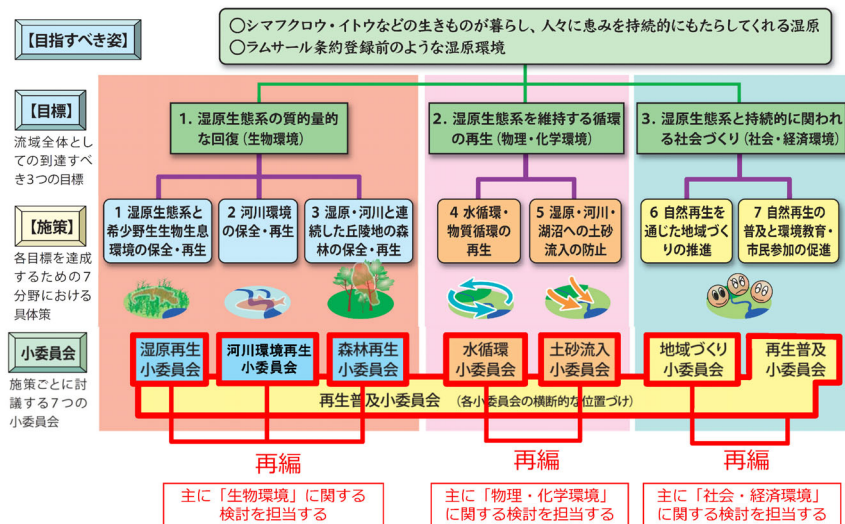
- ・ 気候変動・カーボンニュートラルなど世の中が大きく変動
- ・ 全体構想20年（10年ごとに施策と評価方法の見直し）の節目
- ・ 取り組み、事業の切れ目（水循環、土砂流入）・（新規）雪裡地区自然再生

■ 再編結果（令和6年 7→3小委員会の書面同意）

- ・ 構成員へ令和6年10月7日～10月18日の期間で書面確認
- ・ 回答数 全数N=80のうち、賛成N=78、反対N=1、その他（意見なし）N=1

再編後の小委員会の位置づけ

- ・ 釧路湿原自然再生全体構想策定から20年を契機に、議論の活性化や持続的な協議会運営などを鑑み、7つの小委員会を3つに再編成した。



2. 各小委員会の開催結果

再編後の3つの小委員会において、委員長・委員長代理の選出を行ったのち、小委員会の名称及びこれからの小委員会の基本方針等について議論を行った。

【小委員会名】	生態系再生小委員会
【再編前の小委員会】	湿原再生小委員会、河川環境再生小委員会、森林再生小委員会
【委員長】	照井 滋晴 氏
【委員長代理】	川西 亮太 氏
【基本方針】	【釧路湿原の生物環境の保全・再生】 ・ 釧路湿原の生物の生息状況及び生息環境の状況を把握する。 ・ 釧路湿原自然再生による生物の生息・生育・繁殖環境としての目標（目指す状態）を設定する。 ・ 生物の生息・生育・繁殖環境の目標を達成するための改善方法を示す。 【気候変動への対応】 ・ 気候変動により、生物の生息・生育・繁殖に生じうる影響を評価し、どのように緩和していくかを検討する。

【小委員会名】	土砂流入・水循環小委員会
【再編前の小委員会】	土砂流入小委員会、水循環小委員会
【委員長】	中津川 誠 氏
【委員長代理】	岩崎 理樹 氏
【基本方針】	【湿原を良好に維持するための物理・化学環境の解明と保全】 ・ 湿原や湖沼への急激な土砂の堆積による環境の悪化を防ぐため、流域からの土砂流入量の軽減を図る。 ・ 河川水・地下水などの水循環の保全・再生を図り、流域における健全な水循環・物質循環の維持を図る。

【小委員会名】	みんなの湿原小委員会
【再編前の小委員会】	再生普及小委員会、地域づくり小委員会
【委員長】	中村 研二 氏
【委員長代理】	高崎 優子 氏
【基本方針】	【湿原生態系と持続的に関われる社会づくり】 ・自然再生の取組みの情報発信、環境教育の推進、市民参加の促進等 ・観光振興や一次産業との連携、湿原の賢明な利用のためのルールづくり等

第30回協議会以降に開催された小委員会の開催概要を表-3に示す。

表-3 第30回協議会以降に開催された小委員会の開催概要

小委員会名	開催日時	開催場所	議 事
第1回 みんなの湿原小委員会 【再編前の名称】 ・再生普及小委員会 ・地域づくり小委員会	R7. 2. 7(金) 13:30～16:30	釧路地方合同庁舎 5階 共用第1会議室	1. 小委員会再編の経緯について 2. 再編後の小委員会の目的・名称 3. 再生普及の取組 4. 地域づくりの取組 5. 総合討論
第1回 土砂流入・水循環小委員会 【再編前の名称】 ・土砂流入小委員会 ・水循環小委員会	R7. 2. 14(金) 10:00～14:30	釧路地方合同庁舎 5階 共用第1会議室	1. 小委員会再編の経緯について 2. 再編後の小委員会の目的・名称 3. 久著呂川での土砂流入対策の実施状況 4. 水・物質循環検討報告 5. 総合討論
第1回 生態系再生小委員会 【再編前の名称】 ・湿原再生小委員会 ・河川環境再生小委員会 ・森林再生小委員会	R7. 2. 17(月) 13:30～16:00	釧路地方合同庁舎 5階 共用第1会議室	1. 小委員会再編の経緯について 2. 湿原再生の取組 3. 河川環境再生の取組 4. 森林再生の取組 5. 再編後の小委員会の名称及び目的と実施内容について

3. 第12期(前期) 釧路湿原自然再生協議会構成員の公募結果報告

3-1 第12期(前期) 協議会構成員の公募結果

釧路湿原自然再生協議会設置要綱第5条に基づく委員の募集を令和6年10月22日から11月8日まで行った。この結果、新規で個人7名、団体2団体の応募があった。また、個人19名、団体11団体が退会となり、第12期(前期)構成員(令和6年11月から令和7年11月)は、表-1に示すとおり総勢125名となった。

表-1 釧路湿原自然再生協議会構成員数の推移

		期間	個人	団体	オブザーバー	関係行政機関	計
第1期		(H15.11～ H16.11)	45名	32団体	16団体	11機関	104名
第2期	前期	(H16.11～ H17.11)	56名	36団体	14団体	11機関	117名
	後期	(H17.11～ H18.11)	58名	35団体	14団体	11機関	118名
第3期	前期	(H18.11～ H19.11)	59名	40団体	13団体	11機関	123名
	後期	(H19.11～ H20.11)	62名	41団体	13団体	11機関	127名
第4期	前期	(H20.11～ H21.11)	57名	40団体	13団体	11機関	121名
	後期	(H21.11～ H22.11)	59名	41団体	13団体	11機関	124名
第5期	前期	(H22.11～ H23.11)	53名	41団体	13団体	11機関	118名
	後期	(H23.11～ H24.11)	54名	41団体	13団体	11機関	119名
第6期	前期	(H24.11～ H25.11)	48名	37団体	13団体	10機関	108名
	後期	(H25.11～ H26.11)	52名	37団体	13団体	10機関	112名
第7期	前期	(H26.11～ H27.11)	52名	40団体	13団体	10機関	115名

		期間	個人	団体	オブザーバー	関係行政機関	計
	後期	(H27. 11～ H28. 11)	62 名	47 団体	13 団体	10 機関	132 名
第 8 期	前期	(H28. 11～ H29. 11)	62 名	45 団体	13 団体	10 機関	130 名
	後期	(H29. 11～ H30. 11)	64 名	47 団体	13 団体	10 機関	134 名
第 9 期	前期	(H30. 11～ R1. 11)	68 名	47 団体	13 団体	10 機関	138 名
	後期	(R1. 11～ R2. 11)	66 名	48 団体	13 団体	10 機関	137 名
第 10 期	前期	(R2. 11～ R3. 11)	72 名	49 団体	13 団体	10 機関	144 名
	後期	(R3. 11～ R4. 11)	76 名	47 団体	13 団体	10 機関	146 名
第 11 期	前期	(R4. 11～ R5. 11)	78 名	49 団体	13 団体	10 機関	150 名
	後期	(R5. 11～ R6. 11)	76 名	47 団体	13 団体	10 機関	146 名
第 12 期	前期	(R6. 11～ R7. 11)	64 名	38 団体	13 団体	10 機関	125 名

3-2 第12期（前期）協議会構成員名簿

第12期（前期）の釧路湿原自然再生協議会構成員名簿を次に示す。

■個人（64名）

■：第12期（前期）新規応募

氏名	所属	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
赤坂 泰志		○		○
荒谷 邦雄	九州大学大学院 比較社会文化研究院	○		○
井上 京	北海道大学大学院 農学研究院 教授		○	
岩崎 理樹	北海道大学大学院工学研究院 准教授		○	
植村 滋	元北海道大学	○		
太田 充	筑波大学システム情報系准教授 (社会工学域都市計画分野)			○
岡田 操	(株)水エリサーチ取締役	○	○	
折戸 聖	公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社	○		
加藤 ゆき恵	釧路市立博物館	○		
金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類	○		○
亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員	○		○
川嶋 啓太				○
川尻 洋志	太平洋総合コンサルタント株式会社 環境科学部部長	○		
川西 亮太	北海道教育大学釧路校 准教授	○		○
神田 房行	北方環境研究所所長(元北海道教育大学副学長)	○		
木塚 俊和	北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研		○	
木附 晃実	九州大学基幹教育院共創学部 准教授	○	○	○
君塚 孝一	(有)自然文化創舎			○
工藤 知美	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	○		○
黒田 寛			○	
坂井 一浩	八千代エンジニアリング(株)北海道営業所	○	○	○
櫻井 一隆		○	○	○
貞國 利夫	釧路市立博物館	○	○	○
佐竹 直子	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	○		○
清水 康行	北海学園大学 工学部 特任教授		○	

次頁へ続く→

氏 名	所 属	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
新庄 興		○	○	○
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター 技術委員会委員長	○		○
杉澤 和之		○		○
杉澤 拓男		○	○	○
関 基	八千代エンジニアリング(株)北海道営業所	○	○	○
高崎 優子	北海道教育大学教育学部釧路校			○
高嶋 八千代		○		○
高橋 忠一				○
竹中 康進	環境省	○	○	○
鶴間 秀典				○
照井 滋晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG	○		○
中津川 誠	室蘭工業大学大学院 工学研究科くらし環境系領域 教授		○	
中村 研二	釧路公立大学地域経済研究センター 教授 センター長			○
中村 隆俊	東京農業大学 生物産業学部 講師	○		
中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 名誉教授	○	○	○
根岸 淳二郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授	○		
野本 和宏	釧路市立博物館	○	○	○
橋本 敏彦		○	○	○
長谷川 理	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	○		○
長谷 泰昌	鶴居村立幌呂中学校			○
早川 博	北見工業大学 工学部社会環境工学科 特任教授	○	○	
針生 勤		○		
日野 彰	株式会社日野組 取締役副社長	○	○	
平岩 誠	カヌーショップひらいわ			○
平間 清	(有)平間ファーム	○	○	○
福田 貴志	釧路自然保護協会	○	○	○
福田 兼三	釧路自然保護協会	○	○	○
藤岡 悠一郎	九州大学共創学部 准教授	○	○	○
松橋 尚文	釧路自然保護協会	○	○	○
松本 文雄		○	○	○

：第12期（前期）新規応募

氏 名	所 属	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
森本 淳子	北海道大学大学院農学研究院 教授	○		
矢吹 哲夫	北星学園大学 経済学部 客員教授	○		
矢部 和夫	札幌市立大学 名誉教授・専門研究員	○		
山田 朋人	北海道大学大学院工学研究院 教授	○	○	
山田 浩之	北海道大学大学院農学研究院 講師	○		
山本 太郎	一般財団法人 北海道河川財団	○	○	○
吉中 厚裕	酪農学園大学 環境共生学類	○	○	○
渡辺 剛弘	上智大学	○	○	○
渡部 哲史	九州大学	○	○	○

■団体（38 団体）

団体/機関名	代表者名	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	会長 藤井 芳和			○
一般社団法人釧路青年会議所	理事長 星野 敦生			○
王子ホールディングス株式会社	代表取締役社長 磯野 裕之	○		○
株式会社ニチモク林産北海道	代表取締役社長 小田 弘昭	○		
株式会社マーシュ&リバー	代表取締役 斉藤 松雄			○
釧路川カヌーネットワーク協会	会長 小川 清史	○		○
釧路川水質保全協議会	会長 岡本 満幸		○	
釧路川流域町村観光推進協議会	会長 橋口 春樹	○	○	
釧路観光連盟	会長 中山 勝範			○
釧路国際ウェットランドセンター	理事長 鶴間 秀典	○	○	○
釧路市漁業協同組合	代表理事組合長 近藤 龍洋	○		
釧路自然保護協会	会長 神田 房行	○	○	○
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	会長 桐木 茂雄			○
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋	○	○	○
釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 鶴間 秀典	○	○	○

次頁へ続く→

団体/機関名	代表者名	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会長 近藤 龍洋	○		
釧路造園建設業協会	会長 吉田 英司	○		
釧路武佐の森の会	会長 大西 英一	○		○
こどもエコクラブくしろ	佐々木 誠治			○
公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文	○	○	○
公益財団法人 日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 本藤 泰朗			○
公益財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修	○		○
公益財団法人 北海道環境財団	理事長 大原 雅	○	○	○
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地河川チーム	上席研究員 堀田 伸之	○	○	
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 資源保全チーム	上席研究員 佐藤 善文		○	
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 柿沼 孝治	○	○	○
さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修	○	○	○
標茶西地区農地・水保全隊	隊長 佐久間 三男	○	○	
鶴居排水路維持管理組合	手塚 信幸		○	
道東のイトウを守る会	会長 神田 房行	○		
塘路ネイチャーセンター	齋藤テディ	○	○	○
特定非営利活動法人美しい村・鶴居村観光協会	理事長 和田正宏			○
特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香	○	○	○
特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会	理事長 大西 英一	○		
特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸	○	○	○
特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和	○	○	○
特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道	○	○	○
北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 齋藤テディ	○	○	

■オブザーバー（13 団体）

団体/機関名	代表者名	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
社団法人 十勝釧路管内 さけます増殖事業協会	会長 亀田 元教	○		
釧路東森林組合	代表理事組合長 及川 広樹	○		
標茶町森林組合	代表理事組合長 東理義一	○		
弟子屈町森林組合	代表理事組合長 小野寺 靖	○		
鶴居村森林組合	代表理事組合長 松井 洋和	○		
標茶町農業協同組合	代表理事組合長 鈴木 重充		○	
釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 千葉 喜好	○	○	
阿寒農業協同組合	代表理事組合長 大畑 成市		○	○
釧路商工会議所	会頭 栗林 定正			○
釧路町商工会	会長 土井 茂人			○
標茶町商工会	会長 鈴木 勝己			○
弟子屈町商工会	会長 竹森 英彦			○
鶴居村商工会	会長 大津 泰則			○

■関係行政機関（10 機関）

団体/機関名	代表者名	生態系再生小委員会	土砂流入・水循環小委員会	みんなの湿原小委員会
国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 坂 憲浩	○	○	○
環境省釧路自然環境事務所	所長 岡野 隆宏	○	○	○
林野庁 北海道森林管理局	局長 吉村 洋	○		○
北海道 釧路総合振興局	局長 木村 英也	○	○	○
北海道教育庁 釧路教育局	局長 泉野 将司			○
釧路市	市長 鶴間 秀典	○	○	○
釧路町	町長 小松 茂	○	○	○
標茶町	町長 佐藤 吉彦	○	○	○
弟子屈町	町長 徳永 哲雄			○
鶴居村	村長 大石 正行	○	○	○

釧路湿原自然再生協議会 構成員:125 名

4. 第 11 期（後期）協議会の収支報告

第 11 期（後期）協議会の収支報告を表 2 に示す。

表-2 第 11 期（後期）協議会収支報告

科 目	金 額
第 11 期前期からの繰越額	355,073 円
第 11 期後期(令和 5 年 12 月～令和 6 年 11 月)	
1. 収入の部	
寄付金	15,000 円
預金利息（北洋銀行）	24 円
第 11 期後期収入合計	15,024 円
2. 支出の部	
第 11 期後期支出合計	0 円
第 11 期後期収支(2025 年 3 月現在)	15,024 円
第 12 期前期への繰越額(2025 年 3 月現在)	370,097 円

5. 釧路湿原自然再生協議会運営細則の改定（案）について

小委員会の再編に伴い、釧路湿原自然再生協議会運営細則の第1条、第2条の記載内容について改定（案）を作成した。

14 ページに協議会運営細則の改定（案）を示す。また、16 ページに現行の協議会運営細則との新旧対比表を示す。

釧路湿原自然再生協議会運営細則

第1章 小委員会

(設置)

第1条 協議会に次の小委員会を設置する。

1. 生態系再生小委員会
2. 土砂流入・水循環小委員会
3. みんなの湿原小委員会

(検討事項)

第2条 各小委員会では、次の事項を検討する。

1. 生態系再生小委員会
湿原、河川、森林の自然再生による生物の生息・生育・繁殖の場の保全・再生に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等
2. 土砂流入・水循環小委員会
水循環・物質循環の解明に基づく湿原再生方策並びに土砂流入抑制に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果の検証等
3. みんなの湿原小委員会
釧路湿原自然再生の情報発信、環境教育・市民参加、観光・地元産業との連携による地域振興等

(小委員会事務局)

第3条 小委員会の会務を処理するための事務局を設ける。

1. 事務局は、協議会運営事務局が兼ねる。

(事務局の所掌事務)

第4条 事務局は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 小委員会の会議の運営
- (2) 小委員会の会議の議事要旨の作成及び公開に関する事項
- (3) その他小委員会が付記する事項

第2章 協議会及び小委員会の運営

(協議会及び小委員会の傍聴)

第5条 協議会の会議及び小委員会は、傍聴ができる。

1. 傍聴者は、原則として会議中に発言することはできない。
2. 傍聴者の受け入れは、希望者全てが傍聴できることを基本とし、傍聴の申し込みを当日会場で受け付ける。

(協議会及び小委員会の記録)

第6条 運営事務局は、協議会の会議及び小委員会の議事要旨を、公開する前に原則として、会長又は委員長及び発言した委員の確認を得なければならない。

第3章 補則

(細則改正)

第7条 この細則は、要綱第5条に規定する協議会の委員の発議により、協議会の会議の出席委員の同意を得たうえで、会長が改正することができる。

附則

この細則は、平成15年11月15日から施行する。

平成27年3月16日 一部改正

令和2年9月1日 小委員会名称変更

令和7年3月7日 小委員会名称変更

釧路湿原自然再生協議会運営細則 新旧対比表 (1/2)

釧路湿原自然再生協議会運営細則	釧路湿原自然再生協議会運営細則 (改正案)
第1章 小委員会	第1章 小委員会
(設置)	(設置)
第1条 協議会に次の小委員会を設置する。	第1条 協議会に次の小委員会を設置する。
1. 湿原再生小委員会	1. 生態系再生小委員会
2. 河川環境再生小委員会	2. 土砂流入・水循環小委員会
3. 土砂流入小委員会	3. みんなの湿原小委員会
4. 森林再生小委員会	
5. 水循環小委員会	
6. 地域づくり小委員会	
7. 再生普及小委員会	
(検討事項)	(検討事項)
第2条 各小委員会では、次の事項を検討する。	第2条 各小委員会では、次の事項を検討する。
1. 湿原再生小委員会	1. 生態系再生小委員会
湿原の再生（野生生物の生息環境修復を含む）に関する実施計画、その実施状況及びモニタリング結果等	湿原、河川、森林の自然再生による生物の生息・生育・繁殖の場の保全・再生に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等
2. 河川環境再生小委員会（旧称：旧川復元小委員会）	2. 土砂流入・水循環小委員会
河川の再蛇行化等に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等	水循環・物質循環の解明に基づく湿原再生方策並びに土砂流入抑制に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果の検証等
3. 土砂流入小委員会	3. みんなの湿原小委員会
河川への土砂流入防止に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等	釧路湿原自然再生の情報発信、環境教育・市民参加、観光・地元産業との連携による地域振興等
4. 森林再生小委員会	
森林の再生（野生生物の生息環境修復を含む）に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等	
5. 水循環小委員会	
水質地下水の動態把握・評価、湖沼の再生（野生生物の生息環境修復を含む）等に関する実施計画、実施状況及びモニタリング結果等	
6. 地域づくり小委員会	
バランスの取れた社会経済活動と湿原保全の推進、観光・地域振興による湿原の賢明な利用、地元産業との連携及び情報の発信・提供等に関する事項等	
7. 再生普及小委員会	
釧路湿原の自然再生における環境教育、市民参加及び情報共有の推進並びに小委員会間連携の強化に関する事項等	

釧路湿原自然再生協議会運営細則 新旧対比表 (2/2)

(小委員会事務局) 第3条 小委員会の会務を処理するための事務局を設ける。 1. 事務局は、協議会運営事務局が兼ねる。 (事務局の所掌事務) 第4条 事務局は、次に掲げる事務を行う。 (1) 小委員会の会議の運営 (2) 小委員会の会議の議事要旨の作成及び公開に関する事項 (3) その他小委員会が付記する事項 第2章 協議会及び小委員会の運営 (協議会及び小委員会の傍聴) 第5条 協議会の会議及び小委員会は、傍聴ができる。 1. 傍聴者は、原則として会議中に発言することはできない。 2. 傍聴者の受け入れは、希望者全てが傍聴できることを基本とし、傍聴の申し込みを当日会場で受け付ける。 (協議会及び小委員会の記録) 第6条 運営事務局は、協議会の会議及び小委員会の議事要旨を、公開する前に原則として、会長又は委員長及び発言した委員の確認を得なければならない。 第3章 補則 (細則改正) 第7条 この細則は、要綱第5条に規定する協議会の委員の発議により、協議会の会議の出席委員の同意を得たうえで、会長が改正することができる。 附則 この細則は、平成15年11月15日から施行する。 平成27年3月16日 一部改正 令和2年9月1日 小委員名称変更	第2章 協議会及び小委員会の運営 (協議会及び小委員会の傍聴) 第5条 協議会の会議及び小委員会は、傍聴ができる。 1. 傍聴者は、原則として会議中に発言することはできない。 2. 傍聴者の受け入れは、希望者全てが傍聴できることを基本とし、傍聴の申し込みを当日会場で受け付ける。 (協議会及び小委員会の記録) 第6条 運営事務局は、協議会の会議及び小委員会の議事要旨を、公開する前に原則として、会長又は委員長及び発言した委員の確認を得なければならない。 第3章 補則 (細則改正) 第7条 この細則は、要綱第5条に規定する協議会の委員の発議により、協議会の会議の出席委員の同意を得たうえで、会長が改正することができる。 附則 この細則は、平成15年11月15日から施行する。 平成27年3月16日 一部改正 令和2年9月1日 小委員会名称変更 令和7年3月7日 小委員会名称変更
--	--

第31回 釧路湿原自然再生協議会 出席者名簿

■個人(37名)

(敬称略、五十音順)

No.	参加方法	氏 名	所 属
1	WEB	赤 坂 泰 志	
2	WEB	岩 崎 理 樹	北海道大学大学院工学研究院 准教授
3	会場	植 村 滋	元北海道大学
4	WEB	太 田 充	筑波大学システム情報系准教授(社会工学域都市計画分野)
5	WEB	亀 山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
6	会場	川 嶋 啓 太	
7	WEB	川 尻 洋 志	太平洋総合コンサルタント株式会社 環境科学部部長
8	会場	川 西 亮 太	北海道教育大学釧路校 准教授
9	WEB	神 田 房 行	北方環境研究所所長(元北海道教育大学副学長)
10	WEB	工 藤 知 美	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所
11	WEB	黒 田 寛	
12	WEB	坂 井 一 浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
13	会場	新 庄 久 志	釧路国際ウエットランドセンター 技術委員会委員長
14	WEB	新 庄 興	
15	会場	杉 澤 拓 男	
16	WEB	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
17	会場	高 崎 優 子	北海道教育大学教育学部釧路校
18	会場	高 橋 忠 一	
19	会場	照 井 滋 晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG
20	会場	中 津 川 誠	室蘭工業大学大学院 工学研究科くらし環境系領域 教授
21	会場	中 村 太 士	北海道大学大学院 農学研究院 名誉教授
22	WEB	根 岸 淳 二 郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授
23	会場	野 本 和 宏	釧路市立博物館
24	会場	橋 本 敏 彦	
25	WEB	長 谷 泰 昌	鶴居村立幌呂中学校
26	WEB	長 谷 川 理	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所
27	WEB	早 川 博	北見工業大学 工学部社会環境工学科 特任教授
28	会場	針 生 勤	
29	WEB	日 野 彰	株式会社日野組 取締役副社長
30	会場	平 岩 誠	カヌーショップひらいわ
31	会場	平 間 清	(有)平間ファーム
32	会場	松 本 文 雄	
33	WEB	矢 吹 哲 夫	北星学園大学 経済学部客員教授
34	WEB	矢 部 和 夫	札幌市立大学 名誉教授・専門研究員
35	WEB	山 田 朋 人	北海道大学大学院工学研究院 教授
36	会場	山 本 太 郎	一般財団法人北海道河川財団
37	WEB	吉 中 厚 裕	酪農学園大学 環境共生学類

■団体(23団体)

No.	参加方法	団体/機関名	出席者名
1	会場	一般社団法人釧路観光コンベンション協会	石 山 巖
2	WEB	王子ホールディングス株式会社	細 田 義 仁
3	会場	(株)釧路マーシュ&リバー	齋 藤 松 雄
4	会場	釧路川カヌーネットワーク協会	小 川 清 史
5	会場	釧路川水質保全協議会	小 西 杏 樹
6	会場	釧路観光連盟	長 沼 大 平
7	会場	釧路国際ウェットランドセンター	佐 藤 英 樹
8	WEB	釧路自然保護協会	神 田 房 行
9	会場	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	芳 賀 孝 朋
10	会場	釧路湿原国立公園連絡協議会	佐 藤 英 樹
11	会場	釧路水産用水汚濁防止対策協議会	佐 藤 剛 之
12	会場	釧路造園建設業協会	吉 田 英 司
13	会場	釧路武佐の森の会	高 島 優
14	WEB	公益財団法人 日本鳥類保護連盟釧路支部	藤 原 伸 也
15	会場	公益財団法人 北海道環境財団	山 本 泰 志
16	WEB	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 寒地河川チーム	野 上 毅
17	WEB	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 資源保全チーム	長 竹 新
18	会場	こどもエコクラブくしろ	近 藤 一 燈 美
19	会場	さっぽろ自然調査館	渡 辺 修
20	会場	標茶西地区農地・水保全隊	佐 久 間 三 男
21	WEB	特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会	中 村 好 和
22	会場	特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ	百 瀬 邦 和
23	会場	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	黒 澤 信 道

■オブザーバー(1団体)

No.	参加方法	団体/機関名	出席者名
1	WEB	釧路町商工会	藤 川 幸 司

■関係行政機関(8機関)

No.	参加方法	団体/機関名	出席者名
1	会場	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	桑 村 貴 志
2	会場	環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	岡 野 隆 宏
3	WEB	林野庁 北海道森林管理局	岩 崎 桂 司
4	会場	釧路総合振興局	沖 野 洋
5	WEB	北海道教育庁 釧路教育局	角 田 淳
6	会場	釧路市	佐 藤 英 樹
7	WEB	釧路町	森 末 恵 悟
8	WEB	標茶町	河 村 晃

釧路湿原自然再生協議会 構成員：69名／125名

第31回「釧路湿原自然再生協議会」座席図

日時：令和7年3月7日(金) 13:00～16:00

場所：釧路市観光国際交流センター 1階 大ホール

(敬称略)

